


医療と健康をつなぐテクノロジー



第57期 中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで

 **フジツ電子株式会社**

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、平成15年9月30日をもちまして、第57期上半期を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに中間決算につきましてご報告を申し上げます。

なお、当期の中間配当は日頃のご支援にお応えするため、1株当たり15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



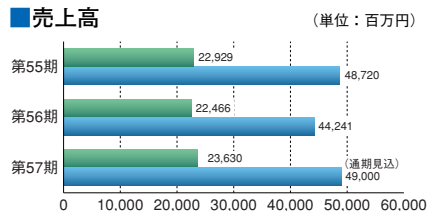
取締役社長

福田 考太郎

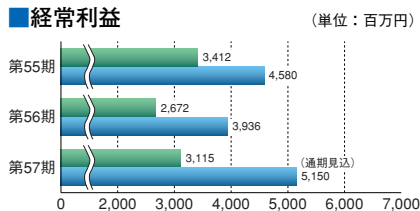
財務ハイライト

● 単体

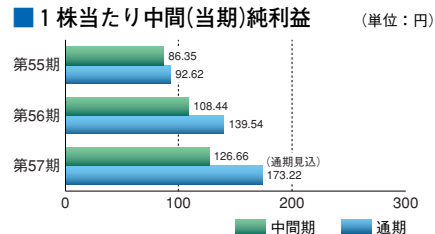
■ 売上高



■ 経常利益

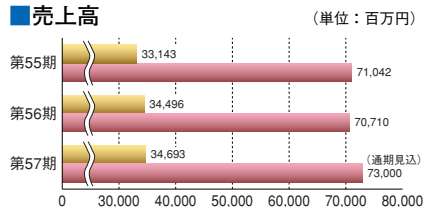


■ 1株当たり中間(当期)純利益

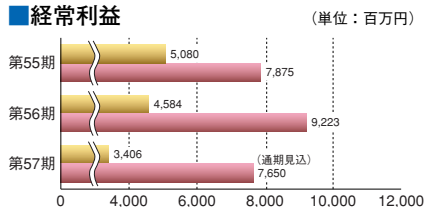


● 連結

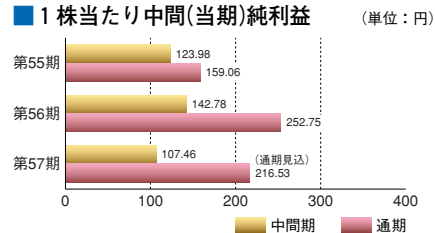
■ 売上高



■ 経常利益



■ 1株当たり中間(当期)純利益



平成15年度上半期の国内経済は、輸出環境の好転や企業の業況感の改善など、緩やかな回復の兆しが見られるものの、円高など不安要素も抱えております。

医療機器業界におきましては、医療制度改革にともなう医療費3割負担や定額医療費制度などの逆風の要素により、非常に厳しい環境で推移しております。

一方、病院経営の効率化ならびに患者様に対する安全性向上の観点から、医療機器および医療サービス産業に対する社会的要請と期待はますます高まっており、新たなビジネスチャンスも発生しております。

このような状況の中、当中間連結会計期間の連結売上高は346億9300万円（前年同期比0.6%増）となりましたが、市場競争激化による販売価格下落が影響し、営業利益は30億7700万円（前年同期比30.8%減）となりました。

経常利益は国内外投資先の復配があり、34億600万円（前年同期比25.7%減）、中間純利益は19億8500万円（前年同期比27.4%減）となりました。

当中間連結会計期間の営業活動における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動による収入が49億7700万円（前年同期比222.7%増）ありましたが、有形固定資産等の取得ならびに短期借入金の返済等の支出が発生したため、当中間連結会計期間末残高は前連結会計年度末より6億9100万円増加して260億5500万円（前年同期比5.1%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、営業活動の結果得られた資金は49億7700万円（前年同期比222.7%増）となりました。これは税金等調整前中間純利益が34億400万円（前年同期比31.5%減）となったものの、仕入債務の増加および法人税等の支払額が減少したためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、投資活動の結果使用した資金は23億7900万円（前年同期比57.0%増）となりました。これは有形固定資産の取得等の発生および、保険の解約による収入が減少したこと等によりです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、財務活動の結果使用した資金は短期借入金の返済等により18億9400万円（前年同期比121.5%増）となりました。

事業部門別の概況

(1) 生体検査装置部門

ブルガダ型評価基準搭載心電計、小型ホルター心電計、カラー超音波画像診断装置の新製品投入により伸びたものの、これまで販売しておりました既存の製品は市場競争激化による販売価格下落が影響し、売上高107億3600万円（前年同期比0.8%減）となりました。

(2) 生体情報モニター部門

国内の販売台数は増加傾向にありますが市場競争激化により売上高は減少いたしました。

一方、輸出売上高は増加したため、売上高22億3100万円（前年同期比1.2%増）となりました。

(3) 治療装置部門

睡眠時無呼吸症候群（SAS）関連機器は好調に推移したものの、在宅酸素濃縮器のレンタル台数が伸び悩み、レンタル価格下落の影響を受け、売上高122億100万円（前年同期比6.2%減）となりました。

(4) その他部門

医用電子機器に用いる記録紙、付属品および消耗品が主なものですが、睡眠時無呼吸症候群（SAS）関連の消耗品が伸びたため売上高95億2400万円（前年同期比12.7%増）となりました。

今後の国内経済は、輸出や設備投資の増加により緩やかな回復基調が続くと予想されますが、株価や為替相場の変動など不安要素を抱え、依然として停滞局面が続くと思われま

す。また、医療機器業界におきましても、医療制度改革の推進にともない病院経営の効率化が進み、企業間競争が一層激しさを増し、引き続き厳しい経営環境が予測されます。

このような状況の中、当社グループといたしましては、性能・コスト競争力の優れた製品の市場投入に加え、サービス向上や効率経営に全社をあげて取り組み、業績向上に努める所存であります。

通期の業績として、売上高730億円、経常利益76億5000万円、当期純利益40億円、1株当たり当期純利益216円53銭を見込んでおります。

中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

(平成15年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目

■資産の部	
流動資産	61,837
現金及び預金	26,374
受取手形及び売掛金	17,788
有価証券	499
たな卸資産	13,849
繰延税金資産	1,974
その他	1,541
貸倒引当金	△ 191
固定資産	32,007
有形固定資産 ※2	16,373
建物及び構築物	3,527
機械装置及び運搬具	364
工具・器具及び備品	7,103
土地	5,274
建設仮勘定	103
無形固定資産	830
連結調整勘定	4
その他	825
投資その他の資産	14,802
投資有価証券	5,028
繰延税金資産	6,546
その他	3,319
貸倒引当金	△ 91
資産合計	93,844

科目

■負債の部	
流動負債	23,464
支払手形及び買掛金	10,616
短期借入金	7,851
未払法人税等	1,862
賞与引当金	1,568
新株引受権	45
その他	1,519
固定負債	5,064
社債	765
長期借入金	6
退職給付引当金	3,066
役員退職慰労引当金	1,214
その他	11
負債合計	28,529
■少数株主持分	
少数株主持分	12
■資本の部	
資本金	4,387
資本剰余金	8,684
利益剰余金	53,471
その他有価証券評価差額金	545
為替換算調整勘定	61
自己株式	△ 1,846
資本合計	65,302
負債、少数株主持分及び資本合計	93,844

注記事項

1. 手形割引高 230百万円
(輸出手形割引高)
- ※2. 有形固定資産の減価償却累計額 14,953百万円

●中間連結損益計算書

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	
売上高	34,693
売上原価	18,807
売上総利益	15,886
販売費及び一般管理費 ※1	12,809
営業利益	3,077
営業外収益	383
受取利息	5
受取配当金	281
その他	97
営業外費用	55
支払利息	34
為替差損	17
その他	2
経常利益	3,406
特別利益	24
保険解約益	24
特別損失	26
固定資産除却損	21
ゴルフ会員権評価損	2
固定資産売却損	2
税金等調整前中間純利益	3,404
法人税、住民税及び事業税	2,011
法人税等調整額	△ 595
少数株主利益	2
中間純利益	1,985

注記事項

※1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

貸倒引当金繰入額	71百万円
役員従業員給料手当等	4,826百万円
賞与及び賞与引当金繰入額	1,171百万円
役員退職慰労引当金繰入額	47百万円
退職給付費用	404百万円
減価償却費	542百万円

●中間連結剰余金計算書

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	
■資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	8,684
資本剰余金増加高	0
自己株式処分差益	0
資本剰余金中間期末残高	8,684
■利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	51,837
利益剰余金増加高	1,985
中間純利益	1,985
利益剰余金減少高	351
配当金	277
役員賞与	70
(うち監査役賞与)	(1)
従業員奨励及び福利基金(注)	4
利益剰余金中間期末残高	53,471

(注) 従業員奨励及び福利基金は、中華人民共和国所在の子会社が当該国の法令に基づいて設定したものであります。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13
現金及び現金同等物の増加額	691
現金及び現金同等物の期首残高	25,364
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,055

中間単体財務諸表

● 中間貸借対照表 (要旨) (平成15年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目

■資産の部	
流動資産	51,237
現金及び預金	20,324
受取手形	13
売掛金	17,481
たな卸資産	6,928
その他	7,183
貸倒引当金	△ 694
固定資産	22,160
有形固定資産	7,473
無形固定資産	571
投資その他の資産	14,115
投資有価証券	4,973
子会社株式	4,349
その他	6,134
貸倒引当金	△ 83
投資評価引当金	△ 1,259
資産合計	73,398

科目

■負債の部	
流動負債	15,674
支払手形	5,561
買掛金	4,041
未払法人税等	965
その他	5,107
固定負債	2,841
退職給付引当金	1,127
その他	1,713
負債合計	18,516
■資本の部	
資本金	4,387
資本剰余金	8,684
利益剰余金	43,112
株式等評価差額金	544
自己株式	△ 1,846
資本合計	54,881
負債・資本合計	73,398

● 中間損益計算書 (要旨)

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目

営業収益	23,630
営業費用	21,824
営業利益	1,805
営業外収益	1,342
営業外費用	32
経常利益	3,115
特別利益	24
特別損失	7
税引前中間純利益	3,132
法人税、住民税及び事業税	1,100
法人税等調整額	△ 306
中間純利益	2,339
前期繰越利益	2,326
中間未処分利益	4,666

酸素濃縮器 FH-21/3L



「Simple & Safety」をコンセプトに開発された酸素濃縮器です。ご使用いただく患者様の使いやすさと安全性はもちろん、省電力、抗菌処理といった機能面も充実し、部品調達を見直すことでコストダウンにも取り組んだ製品です。

慢性呼吸疾患などの改善を目的とした、医師の指導管理のもとで行う在宅酸素療法用の治療器で、フクダライフテックグループが機器の保守点検業務を含めたレンタルサービスを提供しています。

電子スパイロメーター SP-350



禁煙を促進する社会風潮の中であっても、別名タバコ病とも呼ばれる慢性閉塞性肺疾患（COPD）が今後さらに増加していくことが予想されています。当社では、いちはやく、このCOPDに着目し、この秋に業界初となる自動判定機能を搭載した新製品を発売しました。医師の診断を支援し、予防・治療の迅速化をサポートいたします。

心臓カテーテル検査データ 処理システム AXIOM Sensis



心臓カテーテル検査とは、血管から心臓内に細くてやわらかいプラスチック製の管（カテーテル）を挿入し、心臓病の診断、心臓手術の是非を決めるための検査です。

Sensisは、その時の心電図や血圧などの計測と監視、X線画像の情報収集を行い、治療方針の決定に必要なたくさんの情報を管理できる装置です。

解析付心電計 FCP-7201



当社ブランドを支える心電計に、最新のコンピュータ解析ソフトをポータブルボディに搭載したタイプが新しく加わりました。一般開業医での心電図検査はもちろん、病院においても病棟へ持ち出しての心電図検査など、さまざまな医療機関でご利用いただいております。最近、話題になった心突然死の評価となるブルガダ型心電図に関する波形情報を搭載、狭心症や生活習慣病の検査に活躍する最新モデルです。

植え込型ペースメーカー アファミティーム



心臓の働きに異常があり、悪性の不整脈が頻発に発生する方の治療に使用します。手の平よりはるかに小さな装置を、心臓付近に埋め込み、人工的に脈を正常に保たせる役目をします。ペースメーカーを埋め込んだあとも、普段通りに生活をおくっている患者様も多くいらっしゃいます。

負荷心電図装置 ML-3600



糖尿病、高脂血症、高血圧、肥満などの生活習慣病の早期発見、予防・改善を目的としたトレーニングや、狭心症などの心臓病検査に使用します。

運動時の心電図や脈拍、血圧を測定し、医師の診断や患者様の定期的リハビリテーションに使われるほか、フィットネス施設などでも幅広く利用できます。

スパイロメーター(新製品SP-350)で COPD(タバコ病)を早期発見!!



●COPDとは？

COPDとは慢性閉塞性肺疾患のことです。肺機能検査で、深く息を吸った状態から思い切り吐いた時に、初めの1秒間に吐き出せる呼気の量が顕著に減少した状態が続きます。気管支の炎症や肺泡と呼ばれる末梢気道の破壊が原因で、症状としては、せき、たん、息切れなどが続く疾患です。現在、世界の死亡原因第4位、日本でも2003年現在、第8位にランクされ40歳以上で約530万人のCOPD患者が推測されていることがわかりました^{※1}。世界中で患者数が急増しており2020年には世界の死亡原因の第3位になると予想されています。

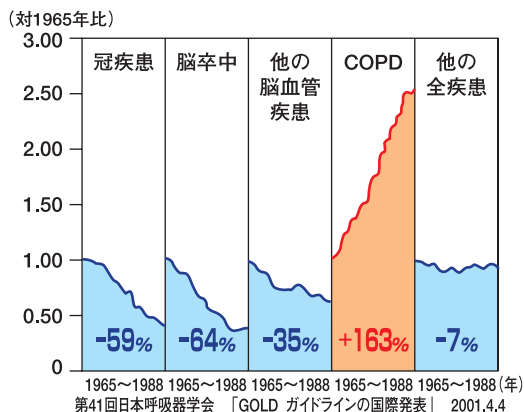
今後、世界規模での問題になることを懸念されているこの疾患の対策として世界保健機関（WHO）と米国国立心肺血液研究所（NHLBI）の共同プロジェクトであるGOLD^{※2}により、世界共通基準の診療・検査・治療を行うCOPDガイドラインが2001年に発表されました。

GOLDの目的は、COPDの認識を高め、この疾患の患者数・死亡率を低下させることにあります。進行性の疾患であるCOPDは一度発症すると完治が非常に難しいため、進行を食い止めるしかありません。そのため、COPD患者の早期発見が重要です。せき・たん・その他の呼吸困難の症状を示す全ての方や喫煙者に対して、スパイロメーターを使って簡単にできるCOPDの検査・確認を一般開業医に対して実施するべきであると働きかけています。

^{※1} 疫学調査 NICE STUDY (Nippon COPD Epidemiology Study) による。

^{※2} Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease

米国における各種疾患死亡率の推移(1965~1998)



●COPDの主な因子=喫煙！

COPD患者の約90%が喫煙者で別名タバコ病とも言われ、タバコが大きな原因になっています。それ以外に大気汚染や職業的に粉塵や化学物質等を吸ったことがある人や遺伝的なものも原因の一つと考えられています。



新製品SP-350がこのCOPD（タバコ病）の 検査・解析を簡単に行います。

●SP-350製品概要

電子スパイロメーター スパイロシフトSP-350は従来のスパイロメーターにCOPDの重症度ステージ判定を解析表示する機能が他社に先駆けて搭載されています。一般開業医の先生が簡単にCOPDの検査・判読・治療が行えることを考え発売した製品です。これ以外にも他社の製品と差別化できる機能を多々搭載した製品です。



電子スパイロメーター
スパイロシフト SP-350
医療用具承認番号：21500BZZ00099000

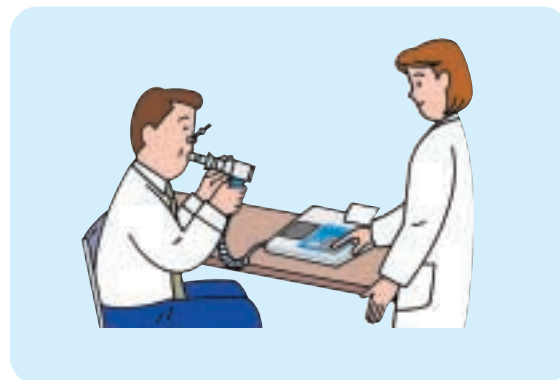
●特徴（他社と差別化できる機能）

ソフト

- ☆ COPDの重症度ステージ判定解析機能
- ☆ スパイロ自動判読解析機能
- ☆ 専門医モード・一般開業医モードの表示切替え機能
- ☆ 警告メッセージとエラーメッセージでトラブル減少
- ☆ 看護師・検査技師コメント入力表示・印字機能

ハード

- ☆ 軽量ボディ（1.6kg）とセンサーロック機構で一体化、移動が簡単に
- ☆ 軽量センサー（150g）で患者様負担を軽減。分解が可能で洗浄・消毒・滅菌が容易にできて衛生的
- ☆ プリンター用紙のセットが簡単に



フクダ電子白井事業所はISO14001（環境マネジメントシステムについて定められた国際規格）の認証を取得しました。



フクダ電子株式会社白井事業所では、事業活動によって生じる環境負荷の低減、環境保全に向けた取り組みの一環としてISO14001（環境マネジメントシステムについて定められた国際規格）の認証取得活動を行ってまいりました。

この結果、2003年6月にBSIジャパンを通じてISO14001（1996）に基づく認証を取得しました。

これからも、当事業所の環境方針に基づき、環境に優しい活動を行ってまいります。

超音波診断装置が グッドデザイン賞を受賞！

汎用超音波画像診断装置 FFsonic UF-750XT

この度、当社の汎用超音波画像診断装置 FFsonic UF-750XTが「2003年度グッドデザイン賞」（Gマーク）を受賞いたしました。豊かなデザイン性と確かな性能を最適なバランスで反映させた、医療機器の開発と供給に、これからも全力を注いでまいります。

●受賞製品●



会社概要 (平成15年9月30日現在)

設立年月日	昭和23年7月6日
資本金	43億8,700万円
営業目的	医療用電子機器の製造・販売および輸出入
主な取引銀行	株式会社東京都市銀行 株式会社東京三菱銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社UFJ銀行 株式会社北陸銀行 商工組合中央金庫 住友信託銀行株式会社

役員

代表取締役社長	福高 田 孝太郎
常務取締役	高橋 口 輝良
常務取締役	原 大 輝良
取締役	大 鈴 木 一 勇
取締役	瀬 大 川 進 行
取締役	岩 山 本 雅
取締役	山 有 本 吉 良
取締役	白 藤 川 原 幸 修
取締役	藤 小 川 潤 三
常勤監査役	岡 田 本 村 法 彌
監査役	

●主な提携・仕入会社 (平成15年12月1日現在)

シーメンス社 (ドイツ)
マッケ社 (ドイツ)
セント・ジュード・メディカル社グループ(U.S.A.)
レスピロニクス社 (U.S.A.)
ソニー株式会社
コニカミノルタグループ
富士通株式会社
株式会社堀場製作所
TDK株式会社
グンゼ株式会社

●海外法人

FUKUDA DENSHI USA, INC.
〔アメリカ・ワシントン州〕
資本金：US\$3,300,000
事業内容：医療用電子機器開発・製造
出資比率：100%
北京福田電子医療儀器有限公司
〔中国・北京〕
資本金：US\$1,400,000
事業内容：医療用電子機器製造・販売
出資比率：95%

●主な納入先

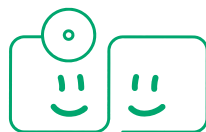
全国各大学医学部付属病院
官公私立病院
診療所
その他医療機関

●フクダ電子グループ (平成15年12月1日現在)

フクダ電子北海道販売株式会社	フクダ電子京滋販売株式会社	フクダライフテック関東株式会社	フクダインターベンションシステムズ株式会社
フクダ電子北東北販売株式会社	フクダ電子近畿販売株式会社	フクダライフテック東京株式会社	フクダメディカルソリューション株式会社
フクダ電子南東北販売株式会社	フクダ電子南近畿販売株式会社	フクダライフテック横浜株式会社	株式会社フクダ電子多賀城研究所
フクダ電子新潟販売株式会社	フクダ電子兵庫販売株式会社	フクダライフテック長野株式会社	株式会社フクダ物流センター
フクダ電子北関東販売株式会社	フクダ電子中国販売株式会社	フクダライフテック北陸株式会社	フクダ電子技術サービス株式会社
フクダ電子西関東販売株式会社	フクダ電子四国販売株式会社	フクダライフテック中部株式会社	エフアンドエル株式会社
フクダ電子南関東販売株式会社	フクダ電子西部北販売株式会社	フクダライフテック関西株式会社	株式会社フクシン
フクダ電子東京販売株式会社	フクダ電子西部南販売株式会社	フクダライフテック南近畿株式会社	株式会社エムイータイムス
フクダ電子東京西販売株式会社	フクダライフテック北海道株式会社	フクダライフテック兵庫株式会社	
フクダ電子神奈川販売株式会社	フクダライフテック北東北株式会社	フクダライフテック中国株式会社	
フクダ電子長野販売株式会社	フクダライフテック南東北株式会社	フクダライフテック四国株式会社	
フクダ電子北陸販売株式会社	フクダライフテック新潟株式会社	フクダライフテック九州株式会社	
フクダ電子中部販売株式会社	フクダライフテック常葉株式会社	フクダライフテック株式会社	

●株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日
	そのほか、必要ある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417 (24時間対応)
	(その他のご照会) 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店



医療と健康をつなぐ
テクノロジー

フクダ電子株式会社

本社 東京都文京区本郷3-39-4 TEL(03)3815-2121(代)

ホームページ <http://www.fukuda.co.jp/>